



や は た

The Salvation Army YAHATA Corps



八幡小隊に関わりのある皆様

「神はわたしたちの避けどころ、わたしたちの砦。苦難のとき、必ずそこに
いまして助けてくださる。」 (詩編46編2節)

新しい年を迎えて、八幡小隊から新年最初のニュースレターをお届けできることをうれしく思います。毎月お届けしている八幡小隊の週報・月報とニュースレターを受け取り、必ずといってよいほど、毎月素敵なハガキに感謝の言葉と、ご自分が経験された神様のお恵みを書いて送ってくださる方があります。その方は、戦前に八幡小隊に導かれて小隊の基礎を築かれた方々のご家庭で育たれました。皆さんの中にも八幡小隊と関わりをもち、幼児期、また青年期を小隊で過ごされた方もあるでしょう。そういう方は、小隊の皆さんからも家族のように思われ、皆さんに祈られて育てたのではないのでしょうか。

八幡小隊は今年、開設110周年を迎えます。10年前、平本祐子大尉の時には100年記念集会が行われ、『救世軍八幡小隊百周年記念誌』が発行されました。その記念誌には、歴代の小隊長方の思い出は掲載されましたが、残念ながら小隊と共に歩まれた方々の証しは掲載されなかったのです。わずかに、地元八幡小隊の代表として、当時93歳の水落敏明名誉曹長と、青少年部から中川公輔さんの証しが掲載されています。八幡小隊の歴史の流れを知るには、これで十分かもしれませんが、実際に八幡小隊で救われ、生涯を全うして天に召された方々の証しを聞きたい、と思いました。

今年、110周年を迎えるにあたり、今度は、皆さんの八幡小隊との思い出や、両親のありのままの姿を紹介していただくとか、先に天に召された家族、兄弟のことなど、八幡小隊に関わることを、ご紹介いただき、証し集としてまとめたいと思います。これは今のところ小隊士官の私の個人的な発想ですが、同意いただける方は、ぜひ、賛同の声をお聞かせください。それから、八幡小隊の『110周年記念証し集』(仮)の編集委員会を発足させたいと思っていますが、ご協力とお祈りをお願いいたします。

なお、先の『100周年記念誌』をお持ちでない方のために、在庫の部数も限られていますので、これをデジタル化して、となたでもご覧いただけるように、インターネットで閲覧できるホームページも、この年、開設したいです。これも私が1月1日にいただいた今年のビジョンです。

話は変わりますが、現在アメリカの球団ドジャースで活躍している大谷翔平選手のことを皆さんもご存じでしょう。その同じ球団にフレディ・フリーマンという選手がいることもご存じですか？ ネットニュースに「大谷翔平を支え続けたフリーマン『人生にはいつもネガティブなことがある』」と紹介された彼は、ワールドシリーズ第2戦で、右足首の捻挫と肋骨の骨折を抱えながら出場し続け、大谷と共に優勝に貢献しました。その彼の両親もまた兄弟も救世軍人なのです。母親は、彼が10歳の時に皮膚がんて天に召されました。「フレディ、あなたには私と同じ弱さがあります。だから体を太陽にあててはいけません。いつも長袖を着ていなさい。」これが愛するフレディへの母の教えでした。彼はその教えを今でも守っているそうです。皆さんの今年のビジョン、示された教えは何でしょうか？

発行 2025年1月



福岡県北九州市八幡東区
昭和2-4-5

TEL (093) 652-1584

FAX (093) 482-5077

E-mail: yahata@jap.

salvationarmy.org

小隊士官 樋口和光

小隊士官 樋口愛子

樋口少佐 携帯電話番号

070-1390-5365

2025年救世軍標語
「信仰の遺産の上に築く」
(テモテへの手紙二1章14節)



■八幡小隊 1月聖別会(礼拝)のご案内

1月5日(日) 10:30a.m.

新年聖別会

毎週の聖別会は同時刻から始め、1時間ほどの礼拝です。ぜひ、お出かけください。

■ユーチューブ配信のご案内 小隊で聖別会のメッセージは、YouTubeの検索、救世軍八幡 でいつでも視聴できます。